

信田 みつ やす しだ光保県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

信田県議

銚子方面の道路整備で要望

高速道路ネットワークに対応し 地域へのアクセス道路も加速化



予算委員会に登壇し、知事に質問する信田委員

銚子市選出の信田光保(しだ・みつやす)県議は、新年度県予算案を審議する2月定例会県議会の予算委員会審議に登壇し、銚子市と北総地域の道路問題を取り上げました。信田県議は、圏央道の開通見直しなど高速道路ネットワークの整備を受けて、高速道路から地域へのアクセス道路整備の加速化を強く訴えました。また、銚子市内の3路線

について、県は初めて具体的な開通時期を明示しました。さらに信田県議の質問に答えて、県は、犬吠埼遊歩道の通行止め区間の一部で、利用者の安全を確保するための工事を実施し、平成30年度内に通行止めを解除させる考えであることなどを明らかにしました。信田県議の予算委員会での主な質疑を特集しました。

道路予算を増額

信田委員 圏央道の県内最後の未開通区間である大栄・横芝間が、2024年度までに開通する見通しとなり、3月17日には本体工事の起工式を執り行うこと

今後、圏央道に接続する道路ネットワークの整備をいかに加速させていくかが重

となり、いよいよ圏央道の全線開通が見えてきました。

2月県議会予算委員会に登壇

県土整備部長 銚子市内の3路線については、まず1つ目として、県道愛宕山

の約577億円とし、地域へのアクセス道路を強力に進めるとともに、市町村からの要望の多い、地域に密着した道路の整備、交差点の改良、歩道の整備、沿道の除草などについても、これまで以上に取り組むこととしたところ。

信田委員 高速道路の整備効果を銚子市まで波及させるため、銚子市内の道路は大変重要であり、地域の産業活性化のためにも大いに期待しています。銚子市内の3路線の開通目標はどうか。

信田委員 道路整備における開通目標はどのような考えで公表したのか。

森田知事 平成30年度の道路ネットワーク事業予算は、前年度から約87億円増

そこで県では、先月1日に道路事業において、事業の透明性の向上、計画的な地域形成、早期の事業効果の発現等を図るため、事業中の路線のうち、銚子連絡道路や長生グリーンライン等の93カ所において、開通目標の時期を公表したところです。

銚子市内の3路線 開通目標を示す

公園線の銚子天王台0.9キロについて、平成32年度までの開通を目指します。

次に国道126号銚子連絡道路の一部である八木拡幅の銚子市親田町から旭市八木までの3.0キロについて、また、3つ目の国道356号銚子バイパスの銚子市芦崎町から長塚町までの3.0キロについて、平成35年度

までの開通を目指します。引き続き、1日も早い開通に向け、事業の推進に努めてまいります。

県議会水産振興議員連盟の会長に就任

しだ光保 事務所 〒288-0044 銚子市西芝町13-20 Jビル2F
TEL.0479(25)3284 FAX.0479(22)1816

要望 銚子連絡道路・国道126号八木拡幅、また国道356号銚子バイパスについて、平成35年度までの開通を目指すと明確に述べていただきましたが、圏央道神崎インターなどへ直結できるアクセス道路の整備までにはまだ時間がかかります。東総地域は、千葉県の中でも最東端という地域性を考慮し、増額される道路予算の配分について、重点的に銚子方面に充てていただきますよう、強く要望します。

銚子漁港の次期整備計画

大型まき網船の接岸可能へ！



予算委員会で発言を求める信田県議

に対応できるマイナス7・5メートル岸壁を5隻分増設し、計6隻の接岸を可能にするなどの整備に取り組みでまいります。

信田委員 平成30年度の事業はどうか。

農林水産部長 防波堤の整備では、約15メートル四方、約千トンのブロックを10

信田委員 浚渫土の有効利用に、どのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 浚渫土の有効活用を図るため、昨年度から改良材を添付し、建設材料として活用する工法の可能性について検討を進めています。今年度は、品質と安全を確認するため、漁港魚場新技術研究会等と覚書を締結し、これに基づき、

農林水産部長 次期計画では、防波堤の整備などにより、風向きに関係なく利用できる2港口化を行うとともに、水産物のさらなるブランド化を図るための高度衛生管理施設の整備に取り組むこととしています。

信田委員 整備に当たっては、1日も早く漁業者の不安を解消し、利用を促進するため、黒生地区の静穏を高める防波堤の整備を最優先に行うとともに、合わせて大型船

に以上製作しますが、陸上運搬できないため、港内の漁業の支障とならない区域での製作を予定しています。平成30年度は、その詳細設計と製作場所や運搬経路の浚渫などを実施します。

浚渫土の有効利用

信田委員 1日でも早く大型まき網船が利用できるよう要望します。

農林水産部長 2月にブロック等据え付けを終え、現在、水質モニタリングを開始したところです。

信田委員 12月末まで実証試験を行った後、その結果を踏まえ、経済性などについて引き続き検討を進めてまいります。

信田委員 浚渫土の有効活用については、これまで民間の事業者から何度か提案されてきましたが、なかなか進まないところでした。今回検討している浚渫土と鉄鋼スラッグの有効活用は、私自身も大変期待しているところであり、スピーディーに有効活用されるよう要望します。

信田委員 平成19年に犬吠埼灯台周辺で地面に亀裂が生じているのが発見されて以来、周辺の遊歩道の一部が

犬吠埼遊歩道の整備

立ち入りを制限されたまま、貴重な観光資源を見ることができない状況となっております。

当該箇所は「銚子ジオパーク」の見どころの一つにもなっており、1日も早く立ち入り禁止の解除の要望が行われてきたところです。そこで、通行止めとなっている犬吠埼遊歩道の整備検討状況はどうか。

環境生活部長 犬吠埼遊歩道は、利用者の安全性を考慮し、一部区間を通行止めとしています。しかしながら、通行止めとなつているところは、国の天然記念物に指定されている白亜紀の地層などを見ることのできる、貴重な観光スポットです。そこで県では、通行止め区間の一部を再開させるため、利用者の安全を確保するための工事を実施し、平成30年度内に完成させる予定です。

北総地域の観光振興策

信田委員 日本遺産認定や圏央道の整備が進む中、北総地域への観光客誘致に向け、どのように取り組んでいるのか。

商工労働部長 北総地域は、観光資源のほか、優れた景観や豊かな海・山の幸など、さまざまな魅力的な観光資源を有しています。

信田委員 県では、圏央道の茨城県区間開通後すぐに、佐野サードエリア及び群馬県前橋市において観光イベントを開催するなど、北関東・南東北地域を対象に、交通アクセスの向上を図るべく、

信田委員 利根かもめ大橋は、道路の交通量の状況はどうか。

信田委員 利根かもめ大橋は、道路の交通量の状況はどうか。

道路であり、地域の発展や交通混雑の緩和のため、建設したものです。平成28年度の利用交通量は、1日平均4541台となっており、計画交通量に対して、約58%となっております。

信田委員 利根かもめ大橋有料道路の償還状況はどうか。また、通行料金値下げの社会実験を実施するに当たっての課題は何か。

県土整備部長 同有料道路は、早期整備を図るため有料道路制度を適用し、平成12年に供用したところであり、料金徴収期間は平成42年3月までとなっております。

信田委員 同有料道路の借入金は、供用開始から30年で償還する計画となっております。平成28年度末の未償還金は約76億円となります。

なお、通行料金値下げを伴う社会実験の実施に当たっては、通行料金の減収分の補てんが必要となることから、料金の値下げに見合う費用負担が課題となると考えております。



予算委員会の質問風景